議会だより

中土佐町

No.46
平成29年８月10日発行

６月定例会

■「道の駅」オープン ……………………… 2

■７人が一般質問 ……………………………… 5

■久礼中３年生が議会を傍聴 ……………… 13

今回の主な内容

■平成29年６月定例会
議案審議 ……………………… 2
一般質問 ……………………… 5
久礼中３年生が傍聴 ………… 13
委員会活動報告 ……………… 14
行政報告 ……………………… 15
主な議案と議員の賛否 ……… 16
■議員の活動状況 ……………… 18
■追跡 ………………………………… 20

保・小・中連携教育の公開授業（P20参照）

平成29年 中土佐町議会 6月定例会

平成29年6月定例会が、6月9日から15日までの7日間の日程で行われました。

開会日の9日には、町長の行政報告、議案の提案理由説明、委員会の活動報告などが行われました。

12日・13日は一般質問（P5から関連記事）が行われ、7人の議員が町の課題について執行部の考えを問いました。

15日には議案の審議が行われ、「税条例改正」などの専決処分9件を承認、道の駅の「指定管理者の指定」など16議案を可決しました。また、「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」2件をいずれも適任とし、閉会しました。

議案審議

「道の駅」設置管理条例・指定管理者指定

「中土佐町道の駅設置及び管理に関する条例について」は、久礼新港背後地に整備された「道の駅なかとさ」の設置や管理を行うための必要な事項を定めたものだ。

下元道夫議員が賛成討論を行った後、採決が行われ、賛成8・反対2で可決された。

この条例が可決された後、「指定管理者の指定について（道の駅なかとさ）」が追加提案された。採決の結果、賛成9・反対1で可決され、㈱SEAプロジェクトが指定管理者となった。

㈱SEAプロジェクト
「道の駅なかとさ」の運営会社。資本金1000万円のうち、中土佐町が80%を出資。

賛成討論

下元道夫議員

町全体の活性化を

新港背後地事業は、水産業をはじめとする町の産業振興にとって、絶対に成功させなくてはならない事業だ。施設もほぼ完成し、7月15日のグランドオープンを待っている。

道の駅が本条例に基づき、水産業、農林畜産業、商工業を底上げし、町全体の活性化の役割を果たすこと。そして、貴重な町の財源を使用する指定管理料は、適正な金額をもって運営されること。

以上を申し上げ、原案に賛成する。

山・川・海と自然豊かな中土佐の特産品を販売する「マルシェなかとさ」

「道の駅」オー

指定管理者に㈱ＳＥＡプロ

おいしいイチゴのスイーツに新しくランチも始まった「風工房」

定番商品から旬の食材を使ったパンを販売する「岩本こむぎ店」

目の前の港に水揚げされた新鮮な魚介類を焼いて味わえる「浜焼き海王」

新鮮で活きのいい魚介類にこだわる「黒潮亭いか船頭」

「道の駅なかとさ」オープンまでの議会の主な経緯

平成５年	・旧中土佐町が、久礼新港の整備計画が盛り込まれた「黒潮のめぐみ体感プロジェクト」策定
平成11年	・旧中土佐町が、久礼新港プランとして基本構想策定
平成16年	・合併協議会が、新港背後地に「多機能型流通拠点施設」整備を盛り込んだ新「中土佐町」建設計画策定
平成18年	・旧中土佐町と旧大野見村が合併。議員数は中土佐地区10人、大野見地区６人となる
平成19年	・新港背後地利用調査研究事業委託料で基本構想策定 ・12月定例会で温泉掘削申請手数料12万円を削除する修正案を賛成 10・反対４（欠席１）で可決し、一般会計補正予算（第４号）を修正可決
平成20年	・第１回臨時会で新港背後地事業等を審議するため町づくり計画調査特別委員会を設置 ・９月定例会で、新港背後地に水産物等販売施設の建設を求める陳情を全会一致で採択
平成21年	・12月定例会で、「新港背後地の利活用について」町づくり調査特別委員会が報告
平成22年	・町議会議員選挙。定数が 12 人となる。 ・６月定例会で、温泉掘削申請手数料（12万円）を減額する修正案は賛成２・反対９で否決されたが、別件の修正案も否決されたことがもとで、一般会計補正予算（第２号）も賛成５・反対６で否決 ・第２回臨時会で、温泉掘削申請手数料を含む一般会計補正予算（第３号）を賛成７・反対４で可決 ・９月定例会で、温泉掘削工事（6500万円）、用地購入費（5000万円）を含む一般会計補正予算（第５号）を賛成９・反対２で可決 ・第４回臨時会で、新港背後地温泉掘削工事請負契約の締結を賛成９・反対１（欠席１）で可決 ・第５回臨時会で、県有財産（新港背後地）売買契約の締結を全会一致で可決 ・12月定例会で、経営計画策定支援業務（43万円）を含む一般会計補正予算（第８号）を賛成10・反対１で可決
平成23年	・３月定例会で、二つの修正案と予算凍結決議案が提出される見込みとなるなど、予算そのものが否決される公算が大きくなったことから、議案審議に先立ち町長が予算の訂正請求。その後、経営計画策定業務委託料（1150万円）を含む一般会計当初予算を賛成６・反対４（欠席１）で可決 ・温泉掘削工事完了（1500m掘削、湧出量53ℓ／分）
平成24年	・６月定例会で、基本・実施設計委託料（4400万円）を減額する修正案を賛成４・反対６（欠員１）で否決し、一般会計補正予算（第１号）を原案可決。
平成25年	・３月定例会で、整備事業費（７億1049万円）を削除する修正案を賛成５・反対４（欠員２）で可決し、一般会計当初予算を修正可決
平成26年	・町議会議員選挙。議員12人中６人が新人となる ・第２回臨時会議（通年議会試行中の名称）で、実施設計積算変更委託料（42万円）のみの計上となった一般会計補正予算（第４号）を賛成４・反対７で否決し事業計画が白紙に ・議会から町長に対し、新港背後地事業に関する要望書を提出
平成27年	・議会からの要望書等も考慮され、温泉施設等が計画から外れたＳＥＡプロジェクトとして再出発 ・３月定例会で、ＳＥＡプロジェクト事業検討支援業務委託料（50万円）を含む一般会計当初予算を賛成８・反対３で可決 ・６月定例会で、基本設計業務委託料（736万円）を100万円に減額する修正案を賛成５・反対６で否決し、一般会計補正予算（第１号）を原案可決。
平成28年	・第２回臨時会で、実施設計委託料（1819万円）を削除する修正案は賛成５・反対５（欠員１）となるも、議長裁決で否決し、一般会計補正予算（第７号）を原案可決 ・３月定例会で、ＳＥＡプロジェクト事業の出資金（800万円）を削除する修正案を賛成４・反対６（欠員１）で否決し、一般会計当初予算を原案可決 ・第４回臨時会で、ＳＥＡプロジェクト事業関連予算（６億1973万円）のみの計上となった一般会計補正予算（第２号）を賛成７・反対３（欠員１）で可決 ・９月定例会で、施設新築工事請負契約の締結を賛成７・反対３（欠員１）で可決 ・第５回臨時会で、住民直接請求によって提出されたＳＥＡプロジェクト事業の是非を問う住民投票条例を賛成２・反対８（欠員１）で否決 ・12月定例会で、財産の取得（「道の駅」厨房機器購入）賛成７・反対３（欠員１）で可決
平成29年	・「道の駅なかとさ」「みなとオアシス久礼」が登録される ・６月定例会で、道の駅の指定管理者を㈱ＳＥＡプロジェクトとする「指定管理者の指定」を賛成８・反対２（欠員１）で可決 ・７月６日落成式 ・７月15日グランドオープン

一般質問
～所信を問う～

戸田　晴喜・・・・・P6
■総合振興計画の評価は
■施設維持管理の見込みは

下元　道夫・・・・・P 7
■カツオ町民会議を
■矢井賀の津波対策を

佐竹　敏彦・・・・・P 8
■㈱ SEA プロジェクトを中土佐町の別働部隊に
■幕別町と姉妹都市に

山下世仁子・・・・・P 9
■消防跡地の利活用は
■道の駅への交通手段は

山中　英男・・・・・P10
■アメゴ釣りな祭終了は
■公共施設の津波浸水域への整備は

岡　伊三男・・・・・P11
■上ノ加江北地区の避難は
■介護施設へ津波救命艇を

福永　守恭・・・・・P12
■どのような農業政策を
■奨学金に減免制度を

6月12日・13日の2日間、一般質問が行われました。一般質問では、7人の議員が、防災対策や農林水産業の振興、7月15日にオープンした道の駅の課題など町の重要課題について、執行部の考えをただしました。

また、12日には久礼中学校3年生の皆さんが一般質問の傍聴に訪れてくれました。

戸田晴喜

総合振興計画の評価は
調査シートを作成

問 平成28年に終了した、総合振興計画の10年間の評価を町自体でしているのか。住民に発表されるべきと思うが、取りまとめと、文書化ができているのかを聞く。

下元企画課長 全体の達成状況を、各課担当者が、施策分野ごとの成果と課題についての調査シートを作成している。公表は行っていないが、製本がまもなくできるので見てもらいたい。

問 次期振興計画に役立てるため、企画課としてどういった課題を捉えているか。

下元企画課長 空き家活用等による住宅整備と自治機能の向上・再構築だ。地域の課題を自ら解決することのできる住民自治組織の地域づくりが必要と考えている。

中間管理住宅として活用される空き家

施設維持管理の見込みは
管理計画と財政を連携

問 総合振興計画に「合併した本町の普通交付税額は、特例措置によって増額交付されているが、最終的には大幅な削減が予定されている。このような状況にも十分対応できる経営体制を構築しなければならない。今後は、これまでの成果と課題を踏まえ、さらなる行財政改革を計画的かつ積極的に推進する必要がある」と書かれている。

平成27年の帳簿価格で約600億円の資産がある。今後、新庁舎建設等で、50億円を超す固定資産が載ってくる。水道・橋等のインフラの補修等の見込みは。財政の現在の運営状況は。また今後何に注視し運営されるのか。

平田総務課長 第1期中土佐町総合振興計画に基づいて、町税の納税率の向上・受益者負担の適正化、緊急性・重要性を考慮し健全な財政運営をしてきた。10年を振り返ると、この間の投資的事業は約129億円だ。久礼中学校の改築、津波避難タワー、給食センターの建設などを行った。今後、役場庁舎の移転事業など、財政運営には当然大きな影響が出る。また、町が抱えるインフラには水道・道路等があり、管理には多大な費用がかかることは認識している。施設の管理計画等々、財政の部分も連携させて計画を実行する。

今後、大きな財政負担を伴う公共施設移転等事業

カツオ町民会議を
県民会議を通じ訴え

問 **平成28年度のカツオの水揚げ合計額は。また、今年の現状は。**

多田水産商工課長 平成28年度の久礼漁協への水揚げ金額は、3億1781万円、489トン。今年は4・5月で1億1560万円、180トンとなっている。

問 **カツオ漁業存続のため、エンジンの更新等さらなる支援が必要と考えるが、このことについて聞く。**

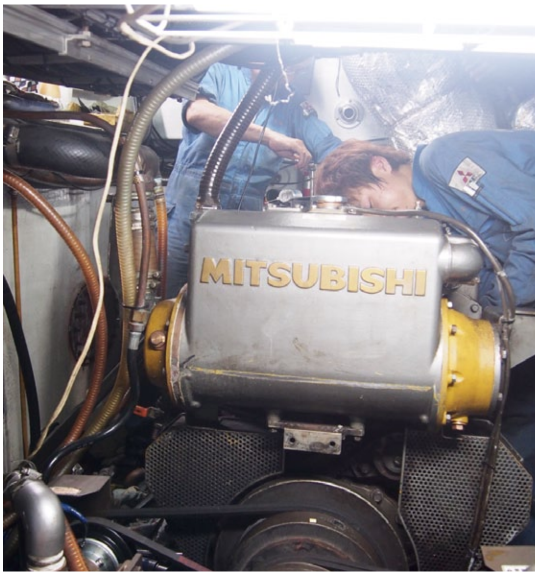
多田水産商工課長 10トン未満が県の対象だ。10トン以上は国の事業が導入できると考えている。

漁業者の皆さんが有効に活用できるよう対応していく。

問 **県は今年2月9日、「高知カツオ県民会議」を結成した。会長は尾﨑高知県知事だ。**

本町も、「中土佐カツオ町民会議」を立ち上げることを提案する。また、町の広報で、カツオの資源問題を知ってもらうことも必要ではないか。町長の考えを聞く。

池田町長 今すぐ「カツオ町民会議」を立ち上げることにはならない。しかし、広報等で町民にカツオの状況を知っていただくことは、大変重要と考えている。県民会議等を通じ（資源問題を）訴えていく。



修理中の14トンのカツオ船の800馬力のエンジン

矢井賀の津波対策を
施設整備用地を検討

問 **小矢井賀、大矢井賀の（津波）浸水高は。大矢井賀の南山避難路から県道へのアクセスについて聞く。**

平田総務課長 県想定で最大15・5ｍ。到達時間は、17分ということだ。

住宅のほとんどが津波によって浸水すると予想されている。避難路から県道へのアクセスは、再度検討は可能だ。

問 **矢井賀地区で240人を超す方が住んでいる。逃げ延びた後の避難所の確保について聞く。**

平田総務課長 大矢井賀地区は、資機材倉庫を災害時の防災拠点として利用できるよう考えている。

小矢井賀地区は、自主防災会からの要望もあり、施設整備に向け、用地の検討をしていきたい。

道の駅への納品希望者は

問 **道の駅の納品希望者・雇用予定者は。大野地区の直営農場をなぜ作ったのか。**

下元企画課長 納品希望者は、101名だ。内訳は農産物58名、水産物12名となっている。

現在、正社員14名、パート32名の合計46名を雇用予定。

直営農場は、実際に作ることによって、農業者の苦労を分かっていこうという部分もある。

被災時には避難所としても利用可能な矢井賀地区の資機材倉庫

㈱SEAプロジェクトを中土佐町の別働部隊に

役割を果たせる組織に

問 大政奉還の少し前、土佐藩では、現在の県組織と市町村組織を合わせた通常の藩組織とは別に「開成館」が設けられた。軍艦局や勧業局、捕鯨局、鋳造局など12の局が置かれた。いわゆる藩の地産外商を行う現代の総合商社だ。

土佐の特産品の土佐和紙・樟脳・茶・かつお節等の専売品を長崎や京都等に販売し、殖産興業が図られた。その結果、幕末には西南雄藩として、明治維新の立役者となった。

（これに倣い本町でも）株式会社SEAプロジェクトが公共団体としての中土佐町の別働部隊として、これに近い組織になることを期待する。

町全体の活性化の役割を果たす使命のある「道の駅」

池田町長 町を丸ごと売るミッションを遂行するため、SEAプロジェクトの推進を図っていく。

「道の駅」「みなとオアシス」としての売りは「海」。漁師の姿、競りのある姿といったリアルな漁業の町の実態を見ることができる「道の駅」は他にない。クルーザーなどが来ることもできる。

そこに海をなりわいとしてきた町の歴史というものを実際に肌で感じ取ってもらえる。

全国に発信しながら、役割を果たしていけるような組織づくりを目指す。

> **クルーザー**
> 居住空間と居住設備を備えたレジャー用のヨットやボート。

幕別町と姉妹都市に

近い将来、提携を

問 北海道幕別町に「災害時相互援助協定」「新庁舎建設」の研修で行ってきた。その後の懇談会で姉妹都市締結の話も出た。

姉妹都市締結で相互の交流を深めていくことが両町にとって非常に有意義だ。町長の英断を期待したい。

池田町長 締結は非常に意義がある。5年も10年もということではなく、近い将来、姉妹都市の提携を結ぶことができたらと思っている。

昨年12月の幕別町との交流事業に参加した町内の小学生（当時）

山下世仁子

消防跡地の利活用は
公園・駐車場等との声

問 消防跡地の利活用の話は進んでいるのか。（平成27年6月定例会で）住民の声をよく聞き、各方面と話し合い決めたい旨の回答であった。その考えに変わりはないか。
「道の駅」オープンに合わせても跡地利用は、住民サービスに通ずるものであると考えるが。

池田町長 役場庁舎等の移転事業の完了が、平成33年以降になる。幅広い議論をする中で、地域の活性化の拠点として、公園あるいは駐車場として活用してはとの声もある。
それぞれの事業の進捗に合わせ議論を進めていきたい。

移転後の跡地利用が課題の高幡消防組合中土佐分署

道の駅への交通手段は
高陵交通バスが経由

問 道の駅への交通手段の確保は。

池田町長 現在、高知高陵交通が矢井賀と須崎を結ぶ便を運行している。上り下り便とも「道の駅」を経由する。1日大体6便ある。
運転されない方は、高陵交通、あるいはタクシーチケット制度を利用していただきたい。「道の駅」と町中を結ぶルートを検討している。

道の駅への出荷品の集荷は

問 「道の駅」への出店者が高齢の場合、現地までの集荷をどのように考えているのか。
生産者の意欲をかき立てるには担当の協力が不可欠と思うが、覚悟はいかがか。

下元企画課長 現在、出荷者協議会の立ち上げも促していきたいと考えている。
意欲をかき立てるには、お客様に求められる商品を作ることが必要だ。商品の販売状況を見ながら、生産者と関係機関との情報を共有する。

槙本農林課長 集荷については要望もあり、必要性を感じている。幾つかの案を検討中だ。生産者の意欲をかき立てることで、農業振興や農業者の所得向上を図る目的で、今後支援を図りたい。

「道の駅」経由の運行が始まった高陵交通バスと「道の駅」に向かう乗客

職員は地元採用を

問 職員採用で、地元出身者の応募はあるか。
地元出身であれば住民との関わりがスムーズになるのでは。

池田町長 地元の受験者は全体の3割から5割だ。

山中英男

アメゴ釣りな祭終了は

町職員による企業への　前売り券販売が問題

問　3月議会の行政報告でアメゴ釣りな祭の終了が町長から報告された。理由は、高齢化・後継者不足・運営費の捻出など問題があったとされた。（前売り券の販売は）今までは行政と実行委員会でお願いに行っていたと思う。行政は今回、難色を示したのではないか。旧大野見村から続けられてきた大きなイベントが、いとも簡単に終了されるのは大変残念だ。

池田町長　一番の問題は中土佐町に入札参加される企業を中心に前売り券の購入をいただいていたことだ。第30回は、200万円のうち半分を買っていただいた。企業訪問へ町の職員が行くのは、倫理上問題がある。職員が企業へ赴いて「チケットを買ってください」を終わりにしようとなった。

　アメゴ釣りな祭を村の活性化のために始めた時とは、地域の状況も変わった。やめるという決断は実行委員会自らが下された。

昨年4月17日に開催された最後のアメゴ釣りな祭

公共施設の津波浸水域への整備は

浸水マップと整合性なし

問　公共施設等管理計画と津波浸水マップとの整合性は。浸水マップというのは浸水域には公共性のある建物（上ノ加江公民館等）は建てないということか。

平田総務課長　総合管理計画は、本町が所轄する施設等全体を把握し、将来的に必要となる費用の試算や長期的視点に基づいての更新・統廃合等を実施するものだ。また、財政負担の軽減を目的にしているものであり、浸水マップとの整合性は直接取ってない。

津波浸水域にある現在地に建て替えが計画されている上ノ加江公民館（裏山の避難路より）

竹邑教育次長　上ノ加江公民館の改築は、地元に建設期成同盟が発足し、828名の署名を添えて要望書が提出された。この公民館は、人口減、少子高齢化が進む地区において、強い要望の中で（現在地への）建て替えを進めている。

リサイクル品の野外への集積は

問　JAくろしお集出荷場の隣に、リサイクルショップができた。近隣の住民はどうなるかと心配している。現状を把握しているのか。行政指導は。法令は。

山本町民環境課長　現状の店舗は民間同士の契約によって民地で営業されている店舗である。リサイクルショップは警察署に許可申請が必要な古物商である。

　廃棄物処理法、悪臭防止法等、法律違反にはなってないので、行政指導はできない。

岡伊三男

上ノ加江北地区の避難は
墓地まで早急に整備

問（上ノ加江）中山避難場所への避難路は、整備されていない場所が多く、役目を果たしてない。

避難場所の用地は地権者との問題があるが、解決のめどは。

平田総務課長 漁業集落環境整備事業で行った避難地は、浸水地域より下にあるという認識はしている。

そこから上の墓地までは早急に整備し、上がりやすい状況をつくる。

並行して、避難場所の用地は交渉していく。

池田町長 現在は非常に通りにくい状況だ。住民の方が安全に避難できるように、未整備部分は路面を整備する。同時に、手すり等を付けて安全に避難できるようにしていく。

（用地は）地権者の方のご理解が得られてない。粘り強く相談をさせていただく。

整備されていない上ノ加江北地区からの避難路

上ノ加江北地区の現在の避難場所から上がった所にある墓地

介護施設へ津波救命艇を
避難困難地でないと判断

問 上ノ加江地区の（小規模介護施設の）2事業所は津波対策がなされていない。行政の協力が必要だ。家屋やブロック塀の倒壊がある。介助や車椅子での避難は困難な状況だ。

救命艇の要望があるが検討は。

平田総務課長 避難路の整備が進んでおり、避難困難地でないと判断しているため、救命艇の設置の検討は行っていない。

グループホームに関しては、県道の方へのアクセス方法を検討する余地もある。

高台に移転後の久礼保育所の冬季の日照は

問 保育所の移転場所は、午後2時前後には日が当たらない状況が見受けられる。保育所は、園児が1日を過ごさなければならない場所だ。建設を進める中で何らかの対策を。

竹邑教育次長 造成を進める中で状況を確認する。立木伐採の検討等、関係機関との協議が必要であると考えている。

久礼保育所の移転後、日陰になる原因となることが懸念されている造成地西側の植林

福永守恭

どのような農業政策を

集落営農の充実等を

問 **米価の下落により若い農業者が増えない。高齢化により農地の担い手・守り手が減少し、農地の価値観が失われ限界集落・消滅集落が増えると思われる。どのような農業政策を行うのか。**

池田町長 猫の目のようにくるくる国の農業政策もくるくる変わった。生産調整も戦後一貫して行ってきたが、農業が崩壊しようとしている。高齢化・担い手不足については集落営農組織の充実を図り、一定の米価を保って売っていける仕組み、それを生産できる仕組みづくりを進めていく。ＪＡ・農業振興センター・各機関とも連携を密にして、推進していく。

今年は作付けが行われていない休耕田

奨学金に減免制度を

免除・減免の考えなし

問 **旧大野見村には学資貸与金の減免に関する規則があった。減免の要件には、「卒業後に自営業に従事する者、村内の企業、団体に勤務する者（国・公共団体及びこれに準ずる団体等に勤務する者は除く。）」を対象者としていた。町内の優秀な人材の育成・確保の観点からもこの規則の制定を考えてはどうか。**

中城教育長 本町の奨学金と坂本育英資金貸付基金をもとにし「仮称中土佐町奨学基金を創設するため、当初予算で５２００万円を積み立てた。奨学基金規模を大きくし、「より多くの奨学生への貸付」「他の奨学金との併用」「返済期間の延長」を可能にする。この３つを大きな柱としている。免除・減免に関する規則は考えていない。

奨学金に対するニーズ把握のため、学生と保護者向けのアンケート調査をしたいと考えている。他の市町村の状況も調べ、十分慎重に検討しなければならないと考えている。

奨学金の事務を所管する教育委員会

久礼中３年生が一般質問を傍聴

私たちも、ボランティアなどで町のために行動できたらいい！

久礼・上ノ加江・大野見などの産物を、どう全国に発信していくか議員が発言していた！

カツオが危機的状況！

町のことを真剣に考えてくれている！

カツオ船のメンテナンスにお金がかかる！

久礼城をすぐにでも復元を！

久礼城は、すごく貴重な城！

こんなに取り組んでくれているのに「どうでもいいわ」とかでは良くない！

久礼城址を整備して、いろんなことに活用を！

町の発展は思うように早く進まないが、それについていろいろ案を出し合っている！

漁業者の自己負担軽減の話もあった！

久礼がどうなっていくか楽しみだし、不安も！

発言の時間内に、聞きたいことをまとめて発言するのはむつかしい！

今年はカツオの水揚げＵＰで安心感！

※写真の一部を合成しています

6月定例会の一般質問が行われた6月12日、久礼中学校3年生42人が2組に分かれて傍聴に訪れました。傍聴中は、町の課題について質問する議員の発言や執行部の答弁を、熱心に聞く姿が印象的でした。

議場で感じたことを、感想文にまとめ、議会に届けてくれました。

９月定例会日程（予定）

９月　８日	（金）	行政報告・議案の提案理由説明・委員会活動報告　他
９月１２日	（火）	一般質問
９月１３日	（水）	一般質問
９月１５日	（金）	議案等の採決　他

※日程は、変更になることがありますので、ご注意ください。

委員会活動報告

6月定例会の初日（6月9日）、総務・産業建設・教育民生の各常任委員長から議会閉会中の委員会の活動報告がありました。

旧上ノ加江漁協への貸付地 高知県漁協と確認を

町有財産等を調査 ／総務常任委員会

5月26日、町管理財産（町有地）3カ所の現地調査と平成26年度末、固定資産総括科目別の資料の検討・議論を行った。

上ノ加江漁協に貸し付けている土地は、漁協が高知県漁協に加盟したことに伴い、町との契約がどうなっているか確認し、再度報告することを求めた。

大野グラウンドと周辺の町有地は、本年度に有効利用について、複数のパターンを検討していく。今年度中に検討結果の報告があると思われる。

旧上ノ加江漁協への貸付地を調査する総務常任委員

固定資産の資料では、インフラ資産の構成が非常に高い。今後この整備に係る負担は、町の財政に大きな影響をもたらすと考える。施設の長寿化と計画的な予算立てが必要になると確認した。

人口減少に伴う地域間格差の不公平感の解消に努めることを求めた。

後世にツケを残さない行政運営、産業基盤の育成、議会と執行部の議論の重要性が高まるということになる。

「道の駅」商品の品ぞろえを

公共事業の進捗状況等を調査 ／産業建設常任委員会

5月23日、SEAプロジェクト施設新築工事の進捗、また開業に向けての取り組みを調査した。この調査は、企画・農林・水産商工課および高橋マネージャーに出席を求め、説明を受けた。

「道の駅なかとさ」「みなとオアシス久礼」は、4月21日に登録が完了した。施設は6月中旬の検査に合格後、テナントが入居予定だ。

直販施設への出荷希望者は、現時点では90名ぐらいの申し込みがあるとのことだ。商品の品ぞろえが重要であるので、出荷者協議会等の立ち上げも視野に取り組んでもらいたい。

続いて、公共施設移転事業等の現場視察を行った。

町道不動越4号線の橋梁下部工A1・A2の2基の橋台工事が行われている。移転用地整備工事も、保育所の山切りをするための土留め工事が行われている。これが終了次第、敷地造成に入っていく予定だ。安全管理には十分配慮して取り組むよう求めた。

公共施設移転等事業（左）と道の駅の建設現場（右）を調査する産業建設常任委員

避難に最善を尽くせ

学校の防災教育等を調査／教育民生常任委員会

5月24日、学校における防災教育と特別養護老人ホームにおける津波救命艇の活用に関して現地視察を含め調査した。

毎年5月に学校運営指針として教育計画を作成している。その中の取り組みとして防災教育が位置付けられている。地震津波防災マニュアルも策定され、学校運営の中で運用されている。避難訓練は年間3～4回実施している。

また、県が実施している学校防災アドバイザー派遣事業で南海トラフ地震の学習を行っている。

「南海トラフ地震に備える会」が設立された。学校での取り組み等の方向性を掲げ、避難所運営マニュアルは順次策定されている。

委員会では、「津波てんでんこで、率先して逃げる」「想定にとらわれない」「最善を尽くせ」等の意見が出た。

その後、津波救命艇が7艇貸与されている「かど福祉会」の現地視察を行った。救命艇は、一艇当たり約640万円。定員は20名で140名まで乗船可能だ。

配置後の5月23日に避難訓練を行っている。津波到達時間は約20分を想定し、入所者等約70名（寝たきりの方等を除く）で訓練した結果9分を要したということだ。

緊急時に避難が困難な寝たきり状態の人の対応や夜間は職員が5名と人員配置が少ないことが課題ともなっている。

また、救命艇には、エアコンや換気扇がなく、真夏や真冬時に問題がある。

「かど福祉会」に貸与された救命艇を調査する教育民生常任委員

今年の避難訓練は11月5日

池田町長の行政報告

1　平成28年度決算見込み

一般会計、特別会計とも黒字決算となる見込みだ。ただ、国民健康保険特別会計だけは、一般会計から1750万円を繰り入れた。

2　ＳＥＡプロジェクト事業

当初の予定どおり、７月６日に落成式典、７月15日にグランドオープンを迎えられるよう各方面で詰めの協議をしている。

3　公共施設移転等事業

順調に進んでおり、現在、橋梁・道路・造成の土木工事を行っている。合わせて、新庁舎及び久礼保育所の設計業務を進めている。

4　地震防災対策事業

自主防災連絡協議会が町内で合計５回の研修会を実施した。今年の避難訓練は、11月５日に実施する。

津波避難路は平成28年度末で67カ所が完成し、矢井賀に資機材倉庫を建築した。住宅耐震工事も前年から大幅に増加した。

5　かつお祭

平成２年の第１回から28年を経過し、高知県を代表する一大イベントとなった「かつお祭」。

新港が駐車場として使えなくなるため、来年からは「道の駅なかとさ」を含めて、さらに個性の強い祭りにできればと考えている。

6　地域おこし協力隊

隊員は、矢井賀地区の北野愛隊員、水産商工課の増木春菜隊員、水産物販売促進支援業務の片岡裕介隊員、七面鳥販売促進支援の松下昇平隊員、大野見北地区支援の永澤緑隊員の５人だ。

どの隊員も積極的に地域に溶け込み、それぞれの任務、使命の実現に向け日々努力されている。

反対しました。

○・・賛成　●・・反対　／・・議長

審議した議案等 ＼ 議員名	岡 伊三男	戸田 晴喜	山中 英男	山下 世仁子	黒原 昭一	中城 重則	下元 道夫	佐竹 敏彦	福永 守恭	松下 裕之	本井 康介	可否
行政手続における特定の個人を識別するための番号利用等法律の一部改正等に伴う関係条例の整備に関する条例 ※マイナンバー法等の改正との整合性を保つためのもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
農業委員・農地利用最適化推進委員の定数条例 ※農業委員会等に関する法律改正に伴い、農業委員と農地利用最適化推進委員の定数を定めるもの	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
非常勤特別職職員の報酬費用弁償条例改正 ※農業委員会等に関する法律改正に伴い、農業委員と農地利用最適化推進委員の報酬を定めるもの	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
道の駅の設置管理条例 ※道の駅なかとさの設置管理について必要な事項を定めるもの	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
町立集会施設の設置管理条例改正 ※分筆による地番変更に伴い所在地を改正するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
大野見野外炊飯場の設置管理条例 ※大野見野外炊飯場の設置管理について必要な事項を定めるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
簡易宿泊施設の設置管理条例改正 ※四万十源流の里の利用料金の上限を改めるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
平成29年度一般会計補正予算（第1号） ※698万円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ69億6373万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
平成29年度介護保険特別会計補正予算（第1号） ※187万円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ12億9465万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
平成29年度簡易水道事業会計補正予算（第１号） ※水道事業費用28万１千円を増額し、収益的支出の総額を1億4890万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
B−2級小型動力ポンプ付積載車購入契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
人権擁護委員の推薦につき意見を求めること ※田中豊博氏について議会に意見を求められたもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	適任
人権擁護委員の推薦につき意見を求めること ※吉岡浩一氏について議会に意見を求められたもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	適任
指定管理者の指定（道の駅なかとさ） ※㈱ＳＥＡプロジェクトを指定管理者とするもの	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決

会議録を閲覧できます。

インターネット中継の映像及び音声は公式記録ではありません。また「議会だより」は発言の概要のみを掲載しています。公式記録は会議録をご覧ください。

会議録は、中土佐町のホームページ及び議会事務局でご覧いただけます。

スマホ・パソコンで議会を

スマートフォンやパソコンで本会議の様子が視聴できます。中土佐町のホームページから議会のページに進みご覧ください。

議員出張懇談会が始まりました

10人程度以上の参加が見込める団体やグループで、議員との懇談の希望があれば、町内どこへでも出張いたします。

ご希望がある場合は、下記までお問い合わせください。

議会に対するご意見などを募集しています。

ご意見やご感想など500字以内で、郵送でご投稿ください。

お問い合せ・ご投稿先　中土佐町議会事務局　〒789-1301 中土佐町久礼6602番地2　TEL 0889-52-2410
E-mail gikaijimu@town.nakatosa.lg.jp　FAX 0889-52-4850

私は、賛成

≪６月定例会の主な議案と議員の賛否≫

審議した議案等　＼　議員名	岡 伊三男	戸田 晴喜	山中 英男	山下 世仁子	黒原 昭一	中城 重則	下元 道夫	佐竹 敏彦	福永 守恭	松下 裕之	本井 康介	可否
専決処分の承認（町税条例改正） ※地方税法・航空機燃料譲与税法の改正との整合性を保つためのもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	承認
専決処分の承認（国保税条例改正） ※軽減判定所得の算定方法の変更	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	／	承認
専決処分の承認（固定資産税の課税免除に関する条例改正） ※過疎地域自立促進特別措置法改正との整合性を保つためのもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	承認
専決処分の承認（平成28年度一般会計補正予算（第6号）） ※歳入歳出それぞれ72億3946万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	承認
専決処分の承認（平成28年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）） ※歳入歳出それぞれ12億5096万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	承認
専決処分の承認（平成28年度住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第2号）） ※歳入歳出それぞれ361万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	承認
専決処分の承認（平成28年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）） ※歳入歳出それぞれ4681万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	承認
専決処分の承認（平成28年度介護保険特別会計補正予算（第5号）） ※歳入歳出それぞれ12億724万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	承認
専決処分の承認（平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）） ※歳入歳出それぞれ1億1737万円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	承認
指定管理者の指定（デイ・サービスセンター「のじぎく荘」） ※社会福祉法人 中土佐町社会福祉協議会を指定管理者とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
指定管理者の指定（障害者社会参加促進施設「鰹乃國の萬屋」） ※社会福祉法人 中土佐町社会福祉協議会を指定管理者とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
町道路線の廃止及び一部廃止 ※町道台帳を更新することに伴う町道路線の廃止及び一部廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決
行政手続等における情報通信の技術の利用条例 ※マイナンバーカード利用者が自宅のパソコンなど情報通信技術を利用して各種申請、届出等の手続き等ができるようにするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	可決

４市町が本町を視察

道の駅建設など地場産業振興についての意見交換を行った足利市議会「あしかが未来倶楽部」の皆さん

津波避難タワー内の備蓄倉庫の写真撮影をする阿南市議会の保岡議員

今年に入り、４市町、30人の議員・事務局の皆さんが本町に視察に訪れました。

１月13日、石川県穴水町議会の皆さんが、本町の産業振興・教育・防災・住宅政策など多岐にわたって研修を行いました。

続いて、２月３日には福岡県岡垣町議会の広報常任委員会の皆さんが本町の広報常任委員と意見交換を行いました。

そして５月10日、栃木県足利市議会の「あしかが未来倶楽部」の皆さんが「地場産業振興による雇用創出の取り組み」、５月16日には徳島県阿南市議会の保岡議員が「防災減災の取り組み」について研修に訪れました。

本町の担当者から津波避難タワーの説明を受ける穴水町議会の皆さん

岡垣町議会広報常任委員会の皆さんとの意見交換

A 私たちは、こんなことをしています。

≪各議員の出欠状況（平成29年４月１日～平成29年６月30日≫

日付・会議等	議員名	岡 伊三男	戸田 晴喜	山中 英男	山下 世仁子	黒原 昭一	中城 重則	下元 道夫	佐竹 敏彦	福永 守恭	松下 裕之	本井 康介
４月10日	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）	／	／	／	○	○	／	○	／	○	／	○
４月12日	議員行政視察研修会（北海道）	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
４月13日		○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
４月14日		○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
４月18日	議員懇談会（町民交流会館）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
４月21日	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）	／	／	／	○	○	／	○	／	○	／	／
５月23日	産業建設常任委員会（中土佐庁舎・町内）	／	○	／	○	○	○	／	○	／	／	／
５月24日	教育民生常任委員会（中土佐庁舎・町内）	△	／	○	／	／	○	／	○	／	○	／
５月26日	総務常任委員会（中土佐庁舎・町内）	○	○	／	／	／	／	○	／	○	／	○
６月５日	議会運営委員会（中土佐庁舎）	／	○	／	／	／	○	○	○	／	／	○
６月９日	6月定例会〈１日目〉（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）	／	／	／	○	○	／	○	／	○	／	／
６月12日	６月定例会〈２日目〉（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（中土佐庁舎）	／	○	／	／	／	○	○	○	／	／	○
６月13日	６月定例会〈３日目〉（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
６月15日	６月定例会〈４日目〉（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
６月29日	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）	／	／	／	○	○	／	○	／	○	／	／

○・・・出席　△・・・一部欠席　●・・・欠席　／・・・所属委員等でない

※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみを掲載しています。

Q 議員は何をしゆうが？

≪議長の主な活動状況（平成29年４月１日～平成29年６月30日≫

●４月

10日　須崎地区地域安全協会監査（中土佐庁舎）
28日　道路整備期成同盟会高知県地方協議会通常総会
　　　道路整備促進高知県大会（高知市／三翠園）

●５月

10日　栃木県足利市議会行政視察研修受け入れ（中土佐庁舎）
15日　平成29年度須崎地区地域安全協会総会（須崎市／須崎警察署）
16日　徳島県阿南市議会行政視察研修受け入れ（中土佐庁舎）
19日　第33回高幡町村議会議長会定期総会（越知町／健康福祉センター）
21日　第28回かつお祭（ふるさと海岸）【正・副議長】
26日　中土佐町商工会通常総会（商工会）
29日　高岡郡高原畜産センター監査（中土佐庁舎）
31日　平成29年度町村議会議長・副議長研修会（東京都）【正・副議長】
（～６月１日）

●６月

19日　第49回高知県警察官友の会総会（高知市／高知商工会館）
20日　移動土木（文化館）
26日　高知県町村議会議長会臨時総会（高知市／自治会館）
30日　平成29年度警察官友の会須崎支部総会（須崎市／須崎プリンスホテル）

栃木県足利市議会の視察研修であいさつをする本井議長（5月10日）

本井議長、松下副議長が出席した平成29年度町村議会議長・副議長研修会（５月31日）

本井議長・松下副議長も壇上に上がった５月21日に開催された「第28回かつお祭」の鏡開き

「ありゃ 追跡 どうなっちゅうぜよ」

今号では、下元道夫議員が平成26年12月定例会で質問した「河川護岸の復旧工事の方法」の問題を追跡しました。

【平成26年12月会議】

問 イノシシが川に侵入し、階段状となっている護岸を通り道とし農地に入っている。階段状のブロックの使用は差し控えてほしい。

山添農林課長 河川護岸のブロックでの有害鳥獣の移動は承知している。

下元建設課長 表面がフラットな形状、駆け上がりにくいブロックを考えていく。

■その後の対応

平成27・28年度、河川護岸の災害復旧は、表面がフラットな形状のブロックを使用し工事を行った。

（建設課）

フラットな形状のブロックを使用した災害復旧工事（左側は以前の階段状のブロック使用による工法）

表紙写真

今年度の「議会だより」の表紙の写真は、「中土佐の未来を託す子どもたち」を取り上げています。

第2回目は、大野見地区で行われた町内の保・小・中の連携教育の公開授業中の子どもたち。

「大野見探検隊」というテーマで、保育園児と小学校1・2年生15名が2班に分かれて一緒に勉強をしている。

園児・小学生それぞれが大野見についての問題を出し合う。「はーい！」「はーい！」となかなか活発だ。

「むつかしかったけど、おもしろかった。保育の子どもたちもすごかった」と小学生の感想の言葉。

紡ぎ合いながら伸びていく芽を持った子どもたち。元気な笑顔が印象的でした。

つぶやき

大川村が議会の代わりに、有権者が直接審議する村総会の研究会を立ち上げた。

これを受け、総務省も「町村総会の運営方法を議論する。有識者検討会を設置する」と発表した。

議員のなり手不足から、村議会を維持できない場合に備えてのことである。少子高齢化、人口減少による担い手不足は全国的な問題である。

わが町もご多分に漏れず、30年先には人口が3000人になるとの統計が出ている。担い手不足により、祭りや地域活動などの維持は、さらに困難さを増すものと思われる。

議会においても、高齢化しつつある。このままでは将来、町村総会を検討する日が来るかもしれない。

若者が政治に興味を示さないのは、若い候補者が出ないからと考えている。

町には有能な若者がたくさんいる。町の未来を切り開くのは若い力である。若い議員が増えること、それが議会改革であると私は思う。

中土佐町議会議員　黒原　昭一

中土佐町議会広報常任委員会
委員長　下元　道夫
副委員長　山下世仁子
委員　黒原　昭一
委員　福永　守恭

発行／高知県中土佐町議会　発行人／議長　本井　康介　編集／議会広報常任委員会
〒789-1301　高知県高岡郡中土佐町久礼6602-2
電話（0889）52-2410（直通）　FAX（0889）52-4850（直通）